

昭和63年度 (1988年)

5月に新潟にて第9回アジア選手権が行われたが、北朝鮮選手団の途中帰国があり(これら一連の流れの中で、結局、北朝鮮はソウル五輪もボイコット)、政治的な国際情勢と絡んで、残念な結末であった。

9~10月に、韓国・ソウルにおいて行われた第24回夏季オリンピック大会より、晴れて卓球が正式種目として認められ、初登場となったが、残念ながら現役学生からの日本代表選手は誕生しなかった。また、日本選手は惜しくもメダルを逃した。

この年も、前年に引き続き、男子は明大と専大、女子は青学大と専大の勢力争いであり、インカレ決勝も去年と同じこの4チームで争われた。なお、秋季リーグ戦において、専大が男女アベック優勝を飾っているが、これ以後、平成に入ってから今日までの8年間、アベック優勝は記録されていない。

男子は主将・岩崎を中心とした専大が強く、学生の全団体戦を総ナメにした。関東学生(2回目)・東日本学生の覇者でもある岩崎はリーグ戦通算36勝(4敗)という新記録を達成した。

女子は星野が抜けた穴を、下長を中心に、高橋、岡村、遠藤らからなる豊富な陣容で埋めた青学大が強かった。団体では、春リーグ・インカレ(2連覇)・東西優勝校対抗戦(5連覇)を制し、個人戦では、下長が関東学生の単複を制覇。これにより、青学大はチームとして関東学生単複5連覇を成し遂げた。なお、富士短大の富永は、この年、リーグ戦・単で10戦全勝、通算でも星野に1敗したのみの19勝(1敗)であった。これは短大として新記録であるが、4年制に換算すれば38勝2敗にあたる大記録である。

この年、全日学において史上初めて男女とも外国人留学生選手がシングルスに優勝した(しかも、女子は留学生同士による決勝戦)。以後、今日に至るまで、「関東の選手」「日本人選手」が全日学シングルスで優勝することは困難になってきている。その中でダブルスでは日本人選手が健闘。男子ダブルスでの渋谷・松下(浩)組(明大)の2連覇が光っている。

その他、対チェコスロバキア友好試合、対中国台北友好試合、日中交歓大会といった多数の国際交流試合を実施した年であった。

運営面では、日大OBの斎藤進氏が理事長に就任し、以後、今日に至るまで多大なる尽力をされている。



関東学生で2年ぶり2回目の優勝を飾った岩崎清信(専大)

リーグ戦通算19勝、短大史上新記録達成で特別賞受賞の富永克子(富士短大)

関東学生新人選手権大会…専大勢が3冠。男子は単複2冠の田原。女子単は全日本2位の村松が青学勢を連破

- ◇男子シングルス
準決勝
田原直昌(専大) 2(15, 19) 0 佐藤克典(明大)
山本大介(大正大) 2(-23, 21, 11) 1 牛谷有一(早大)
決勝
田原直昌(専大) 2(16, 11) 0 山本大介(大正大)
◇男子ダブルス
準決勝
江崎敏満(専大) 2(9, 12) 0 小林利行(大正大)
田原直昌(専大) 2(9, 12) 0 江本琢寛(日体大)
佐藤克典(明大) 2(16, 15) 0 江本琢寛(日体大)
佐藤孝之(明大) 2(16, 15) 0 江本琢寛(日体大)
決勝
江崎敏満(専大) 2(20, 19) 0 佐藤克典(明大)
田原直昌(専大) 2(20, 19) 0 佐藤孝之(明大)

- ◇女子シングルス
準決勝
村松由希子(専大) 2(14, 23) 0 遠藤光恵(青学大)
岡村篤子(青学大) 2(18, 19) 0 佐藤恵理子(日大)
決勝
村松由希子(専大) 2(13, 13) 0 岡村篤子(青学大)
◇女子ダブルス
準決勝
岡村篤子(青学大) 2(7, 18) 0 藤田桂子(日体大)
丸木貴美子(青学大) 2(7, 18) 0 藤田清美(日体大)
鈴木雅子(青学大) 2(14, 18) 0 佐藤恵理子(日大)
遠藤光恵(青学大) 2(14, 18) 0 遠藤光恵(青学大)
決勝
岡村篤子(青学大) 2(20, 18) 0 鈴木雅子(青学大)
丸木貴美子(青学大) 2(20, 18) 0 遠藤光恵(青学大)

関東学生選手権大会…男子は明治が活躍。女子は下長が単複2冠王。青学大は5年連続単複2冠を制す

- ◇男子シングルス
準々決勝
岩崎清信(専大) 3(11, 12, 7) 0 松井正幸(法大)
松下雄二(明大) 3(-20, -19, 12, 16, 19) 2 柏原哲郎(明大)
松下浩二(明大) 3(-14, 14, 14, 19) 1 小泉純彦(大正大)
渋谷浩(明大) 3(16, 18, 16) 0 伊藤誠(早大)
準決勝
岩崎清信(専大) 3(15, -15, -17, 16, 14) 2 松下雄二(明大)
松下浩二(明大) 3(19, 16, 13) 0 渋谷浩(明大)
決勝
岩崎清信(専大) 3(17, 19, 19) 0 松下浩二(明大)
(岩崎は2年ぶり2回目の優勝)
◇男子ダブルス
準決勝
渋谷浩(明大) 2(9, 16) 0 泉直行(中大)
松下浩二(明大) 2(9, 16) 0 花田淳(中大)
川波豊(明大) 2(20, 15) 0 佐藤大輔(早大)
松下雄二(明大) 2(20, 15) 0 阿部友明(早大)
決勝
渋谷浩(明大) 2(16, 12) 0 川波豊(明大)
松下浩二(明大) 2(16, 12) 0 松下雄二(明大)
(渋谷・松下(浩)組は2年ぶり2回目の優勝)

- ◇女子シングルス
準々決勝
下長智子(青学大) 3(17, 21, 10) 0 細山田智美(富士短大)
岡本香奈(中大) 3(15, 10, 11) 0 堀川真希子(専大)
遠藤光恵(青学大) 3(10, 17, -18, 15) 1 岡村篤子(青学大)
富永克子(富士短大) 3(-19, 21, 11, -19, 18) 2 佐藤恵理子(日大)
準決勝
下長智子(青学大) 3(13, 9, 10) 0 岡本香奈(中大)
遠藤光恵(青学大) 3(17, 15, 13) 0 富永克子(富士短大)
決勝
下長智子(青学大) 3(-22, 16, 20, 11) 1 遠藤光恵(青学大)
(下長は初優勝)
◇女子ダブルス
準決勝
下長智子(青学大) 2(14, -19, 17) 1 西倉真弓(日体大)
室重明世(青学大) 2(14, -19, 17) 1 今井美香(日体大)
土川麻子(大正大) 2(-18, 19, 13) 1 金原淳子(日体大)
堀越芳江(大正大) 2(-18, 19, 13) 1 和山由香(日体大)
決勝
下長智子(青学大) 2(12, 20) 0 土川麻子(大正大)
室重明世(青学大) 2(12, 20) 0 堀越芳江(大正大)
(下長・室重組は初優勝)

春季リーグ戦…男女とも、1年生がラストで優勝を決める。

- 男子1部
専修大 4 - 3 明治大
1 大平信悟 0(-16, -16) 2 松下雄二○
2 田原直昌 2(-15, 14, 14) 1 川波豊
3 野中修二 0(-11, -17) 2 松下浩二○
4 岩崎清信 1(-17, 23, -16) 2 渋谷浩○
大平信悟 1(-17, 23, -16) 2 松下浩二○
5 木原温 2(16, 7) 0 藤木卓也
6 岩崎清信 2(18, 11) 0 渋谷浩
7 江崎敏満 2(19, 19) 0 柏原哲郎
(専修大は2季連続21回目の優勝)

- 女子1部
青山学院大 4 - 3 専修大
1 八嶋悦子 0(-17, -12) 2 村松由希子○
2 下長智子 0(-13, -21) 2 内野文○
3 下長智子 2(14, 19) 0 内野文
室重明世 2(14, 19) 0 村松由希子
4 高橋頼子 2(17, 10) 0 山谷弘子
5 名和史 1(21, -18, -13) 2 高田治代○
高橋頼子 1(21, -18, -13) 2 高田治代○
6 遠藤光恵 2(18, 13) 0 堀川真希子
7 岡村篤子 2(14, 21) 0 小野ひとみ
(青山学院大は2季ぶり11回目の優勝)

- 入替戦
男子・法政大(2部) 4-2 日本大(1部)
女子・日本体育大(2部) 4-3 日本大(1部)

秋季リーグ戦…専大、アベックVで昭和を締めくくる

岩崎は、通算36勝の新記録達成。
富永は19勝で短大新記録

- 男子1部
専修大 4 - 3 明治大
1 岩崎清信 1(17, -19, -15) 2 松下雄二○
2 木原温 2(19, 18) 0 寺下敏弘
3 大平信悟 0(-18, -19) 2 渋谷浩○
4 岩崎清信 2(-17, 14, 8) 1 渋谷浩○
野中修二 2(-17, 14, 8) 1 渋谷浩○
5 江崎敏満 1(14, -18, -18) 2 柏原哲郎○
6 田原直昌 2(-16, 19, 21) 1 松下浩二
7 野中修二 2(13, -24, 16) 1 川波豊
(専修大は3季連続22回目の優勝)

- 女子1部
専修大 4 - 1 青山学院大
1 村松由希子 2(-17, 17, 19) 1 下長智子
2 内野文 2(18, 12) 0 遠藤光恵
3 堀川真希子 2(13, 19) 0 下長智子
内野文 2(13, 19) 0 室重明世
4 堀川真希子 1(4, -18, -16) 2 高橋頼子○
5 小野ひとみ 2(-16, 11, 20) 1 高橋頼子
村松由希子 2(-16, 11, 20) 1 岡村篤子
6 小野ひとみ 岡村篤子
7 上村淳子 川上隼重
(専修大は2季ぶり31回目の優勝)

- 入替戦
男子・青山学院大(2部) 4-3 法政大(1部)
女子・中央大(1部) 4-1 日本大(2部)

春秋王座決定戦

女子・青山学院大(春季) 4-3 専修大(秋季)

昭和63年度・春季

男子1部	専修大	明治大	中央大	大正大	早稲田大	日本大	勝	敗	得失	順位
専修大		○4-3	○4-1	○4-0	○4-1	○4-0	5-0	20-5	1	
明治大	●3-4		○4-2	○4-1	○4-3	○4-1	4-1	19-11	2	
中央大	●1-4	●2-4		●0-4	●2-4	○4-0	1-4	9-16	5	
大正大	●0-4	●1-4	○4-0		●2-4	○4-1	2-3	11-13	4	
早稲田大	●1-4	●3-4	○4-2	○4-2		○4-1	3-2	16-13	3	
日本大	●0-4	●1-4	●0-4	●1-4	●1-4		0-5	3-20	6	



殊勲賞 江崎 敏満 (専大)
 敢闘賞 渋谷 浩 (明大)
 優秀選手賞 岩崎 清信 (専大)
 松下 浩二 (明大)
 松下 雄二 (明大)
 最優秀新人賞 江崎 敏満 (専大)

昭和63年度・春季

女子1部	専修大	青山学院大	大正大	富士短期大	中央大	日本大	勝	敗	得失	順位
専修大		●3-4	○4-2	○4-2	○4-1	○4-2	4-1	19-11	2	
青山学院大	○4-3		○4-0	○4-2	○4-3	○4-0	5-0	20-8	1	
大正大	●2-4	●0-4		●2-4	●0-4	○4-1	1-4	8-17	5	
富士短期大	●2-4	●2-4	○4-2		●2-4	○4-3	2-3	14-17	4	
中央大	●1-4	●3-4	○4-0	○4-2		○4-0	3-2	16-10	3	
日本大	●2-4	●0-4	●1-4	●3-4	●0-4		0-5	6-20	6	



殊勲賞 遠藤 光恵 (青学大)
 敢闘賞 村松由希子 (専大)
 優秀選手賞 高橋 頼子 (青学大)
 村松由希子 (専大)
 富永 克子 (富士短大)
 最優秀新人賞 遠藤 光恵 (青学大)
 村松由希子 (専大)

昭和63年度 春季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	専修大	明治大	早稲田大	大正大	中央大	日本大
2部	法政大	日本体育大	駒沢大	青山学院大	筑波大	東洋大
3部	A 東海大	亜細亜大	慶応義塾大	東京農業大	東京大	東京経済大
	B 千葉商科大	国学院大	東京学芸大	大東文化大	東京理科大	茨城大
4部	A 東京電機大	高崎経済大	一橋大	山梨大	武蔵大	東医歯大
	B 国士館大	立正大	成蹊大	学習院大	群馬大	東京国際大
	C 日本工業大	帝京大	千葉大	都留文科大	東京都立大	東京農工大
	D 明星大	埼玉大	立教大	宇都宮大	東京工業大	明治学院大
5部	A 武蔵工業大	上智大	工学院大	独協大	二松学舎大	芝浦工業大
	B 創価大	関東学院大	日工学院専	産能大	流通経済大	桜美林大
	C 成城大	高千穂商大	防衛大学校	埼玉工業大	電気通信大	東京薬科大
	D 横浜市立大	横浜国立大	東京歯科大	山梨学院大	文教大	日獣畜大
6部	A 中央工学校	玉川大	東京水産大	(職業訓練大)	(聖マリ医大)	
	B 千葉工業大	横浜商科大	相模工業大	(大原簿記)	(神奈川大)	
	C 明治薬科大	星薬科大	東京外語大	(防衛医科大)		
	D 東京工芸大	日本電子専	I C U	(東京工業専)		
	E 国際武道大	順天堂大	淑徳大	(和光大)		

女子	1	2	3	4	5	6
1部	青学大	専修大	中央大	富士短大	大正大	日本大
2部	日本体育大	淑徳短期大	東女体大	和洋女子大	筑波大	東洋大
3部	A 日女体大	都留文科大	東海大	埼玉大	宇都宮大	東京大
	B 国学院大	早稲田大	千葉大	群馬大	法政大	(大妻女子大)
4部	A 創価大	武蔵大	昭和女子大	大東文化大	立教大	創価女短大
	B 慶応義塾大	東京理科大	明治大	東京薬科大	高崎経済大	(東京農業大)
	C 東京学芸大	学習院大	群馬女大	東京家政大	上智大	(津田塾大)
	D 立正大	二松学舎大	茨城大	お茶水女大	聖心女子大	(独協大)
5部	A 明治学院大	明治薬科大	横浜国立大	実践女子大	(成城大)	(大原簿記)
	B 玉川大	桜美林大	文教大	東京外語大	東京歯科大	東京農工大
	C 明星大	横浜市立大	山梨大	日獣畜大	産能短大	(十文字短大)
	D 東医歯大	東京都立大	共立薬科大	日本女子大	(東京国際大)	(成蹊大)
6部	A 鶴見大	(東京工業大)	(県栄短大)	(東京女子大)	(女子美術大)	
	B 武蔵野女大	星薬科大	(和光大)	(清泉女大)	(跡見短大)	(青学短大)
	C I C U	帝京大	(淑徳大)	(女栄短大)	(日電専)	(横商大)

() は棄権したチーム

昭和63年度・秋季

男子1部	専修大	明治大	早稲田大	大正大	中央大	法政大	勝敗	得失	順位
専修大		○4-3	○4-1	○4-0	○4-2	○4-0	5-0	20-6	1
明治大	●3-4		○4-1	○4-1	○4-1	○4-0	4-1	19-7	2
早稲田大	●1-4	●1-4		○4-0	○4-1	○4-0	3-2	14-9	3
大正大	●0-4	●1-4	●0-4		○4-1	○4-3	2-3	9-16	4
中央大	●2-4	●1-4	●1-4	●1-4		○4-0	1-4	9-16	5
法政大	●0-4	●0-4	●0-4	●3-4	●0-4		0-5	3-20	6



殊勲賞 野中修二(専大)
 敢闘賞 阿部忠博(早大)
 優秀選手賞 渋谷浩(明大)
 松下雄二(明大)
 田原直昌(専大)

昭和63年度・秋季

女子1部	青山学院大	専修大	中央大	富士短期大	大正大	日本体育大	勝敗	得失	順位
青山学院大		●1-4	○4-2	○4-2	○4-2	○4-1	4-1	17-11	2
専修大	○4-1		○4-0	●3-4	○4-2	○4-0	4-1	19-7	1
中央大	●2-4	●0-4		●2-4	○4-3	●3-4	1-4	11-19	6
富士短期大	●2-4	○4-3	○4-2		●3-4	○4-1	3-2	17-14	3
大正大	●2-4	●2-4	●3-4	○4-3		○4-3	2-3	15-18	4
日本体育大	●1-4	●0-4	○4-3	●1-4	●3-4		1-4	9-19	5



殊勲賞 内野文(専大)
 敢闘賞 富永克子(富士短大)
 優秀選手賞 岡村篤子(青学大)
 村松由希子(専大)
 富永克子(富士短大)

昭和63年度 秋季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6	
1部	専修大	明治大	早稲田大	大正大	中央大	法政大	
2部	青山学院大	日本体育大	日本大	駒沢大	東洋大	筑波大	
3部	A	亜細亜大	東京農業大	東京学芸大	千葉商科大	東京理科大	明星大
	B	国学院大	慶応義塾大	東海大	大東文化大	東京大	東京電機大
4部	A	帝京大	東京経済大	東京農工大	東京工業大	成蹊大	山梨大
	B	埼玉大	学習院大	千葉大	茨城大	創価大	武蔵大
	C	国土館大	都留文科大	高崎経済大	立教大	群馬大	東医歯大
	D	立正大	横浜市立大	東京都立大	日本工業大	宇都宮大	一橋大
5部	A	独協大	日工学院専	東京薬科大	高千穂商大	文教大	東京国際大
	B	横浜国立大	防衛大学校	武蔵工業大	国際武道大	産能大	二松学舎大
	C	東京歯科大	明治学院大	埼玉工業大	上智大	流通経済大	芝浦工業大
	D	山梨学院大	関東学院大	工学院大	成城大	桜美林大	電気通信大
6部	A	東京外語大	日獣畜大	(日電専)	(大原簿記)	(聖マリ医大)	
	B	順天堂大	I C U	(中央工学校)	(防医大)	(神奈川大)	
	C	千葉工業大	淑徳大	玉川大	(東工専)		
	D	横浜商科大	東京水産大	和光大	明治薬科大		
	E	相模工業大	東京工芸大	(星薬科大)	(職業訓練大)		

女子	1	2	3	4	5	6	
1部	専修大	青山学院大	富士短期大	大正大	日本体育大	中央大	
2部	日本大	淑徳短期大	和洋女子大	筑波大	東女体大	東洋大	
3部	A	千葉大	埼玉大	東京学芸大	都留文科大	法政大	国学院大
	B	日女体大	東海大	宇都宮大	群馬大	慶応義塾大	早稲田大
4部	A	学習院大	立正大	大東文化大	明治大	明星大	(聖心女子大)
	B	創価大	立教大	二松学舎大	東京薬科大	群馬女大	東医歯大
	C	大妻女子大	茨城大	高崎経済大	東京家政大	玉川大	武蔵大
	D	東京理科大	東京大	明治学院大	お茶水女大	昭和女子大	上智大
5部	A	文教大	I C U	横浜市立大	(独協大)	(実践女大)	(東国大)
	B	山梨大	鶴見大	東京外語大	東京都立大	(東京農業大)	(成城大)
	C	東京歯科大	創価女短大	日獣畜大	明治薬科大	共立薬科大	(武女大)
	D	横浜国立大	桜美林大	産能短大	日本女子大	東京農工大	(津田塾大)
6部	A	産能大	十文字短大	跡見短大	(星薬科大)	(県栄短大)	(女栄短大)
	B	帝京大	(成蹊大)	(和光大)	(東京女子大)	(日電専)	(青学短大)
	C	淑徳大	(大原簿記)	(東京工業大)	(清泉女大)	(女子美術大)	(横浜商科大)

()は棄権したチーム

昭和63年度(1988年)

第58回全日本大学対抗卓球大会(京都市体育館) …前年と同じ決勝カードを制し、男子・専大、女子・青学大が連覇達成。岩崎は2年連続の敢闘賞を受賞。

◇男子団体

準々決勝
専修大 3-1 中央大
愛知工業大 3-2 京都産業大
明治大 3-1 近畿大
早稲田大 3-0 日本体育大

準決勝

専修大 3-0 愛知工業大
○大平信悟 2(24,15)0 梅原哲
○岩崎清信 2(15,11)0 岡本利明
○大平信悟 2(14,8)0 (友井武志 則竹孝彦)
野中修二 友井武志
江崎敏満 則竹孝彦

決勝

明治大 3-1 早稲田大
○松下雄二 2(11,-19,12)1 牛谷有一
柏原哲郎 0(-17,-13)2 伊藤誠○
川波豊 2(17,-11,16)1 (佐藤大輔 伊藤誠)
○松下雄二 2(-16,17,15)1 佐藤大輔
渋谷浩 阿部友明

決勝

専修大 3-1 明治大
○岩崎清信 2(18,17)0 松下雄二
江崎敏満 0(-19,-18)2 松下雄二○
○岩崎清信 2(-9,17,14)1 (渋谷浩 木原温)
○野中修二 2(-10,16,14)1 渋谷浩
大平信悟 柏原哲郎
(専修大は2年連続16回目の優勝)
敢闘賞 岩崎清信(専修大)

◇女子団体

準々決勝
青山学院大 3-0 天理大
富士短期大 3-1 大正大
専修大 3-0 東北福祉大
中央大 3-0 日本体育大

準決勝

青山学院大 3-0 富士短期大
○下長智子 2(17,7)0 鈴木佐和子
○高橋頼子 2(8,14)0 富永克子
○下長智子 2(15,14)0 (富永克子 室重明世)
遠藤光恵 蒲生涼子
岡村篤子 細山田智美

決勝

専修大 3-1 中央大
山谷弘子 0(-14,-13)2 嶋野理恵○
○村松由希子 2(8,14)0 岡本香奈
○堀川真希子 2(14,-17,9)1 (嶋野理恵 高尾和子)
○小野ひとみ 2(13,12)0 工藤靖子
堀川真希子 金津美紀

決勝

青山学院大 3-2 専修大
○下長智子 2(18,19)0 小野ひとみ
高橋頼子 0(-6,-25)2 村松由希子○
下長智子 1(11,-13,-14)2 (内野文 堀川真希子)
○岡村篤子 2(18,-19,19)1 内野文
○遠藤光恵 2(-18,20,17)1 堀川真希子
(青山学院大は2年連続4回目の優勝)
敢闘賞 下長智子(青山学院大)

第42回東日本学生選手権大会(新潟市体育館) …男子・優勝候補(単・楊、複・渋谷・松下(浩)組)敗退の間隙を突き、専大勢が単複を獲得

◇東西優勝校対抗戦・東日本代表決定戦

男子団体

専修大 4-1 愛知工業大

◇男子シングルス

準決勝

岩崎清信(専大) 3(17,16,15)0 松下雄二(明大)
松下雄二(明大) 3(13,12,19)0 渋谷浩(明大)
決勝
岩崎清信(専大) 3(11,-18,18,-15,12)2 松下雄二(明大)

決勝

(岩崎は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

渡辺輝彦(専大) 2(17,17)0 岩崎清信(専大)
橋本正浩 木原温
佐藤大輔(早大) 2(-15,24,20)1 田原直昌(専大)
阿部友明 江崎敏満(専大)

決勝

渡辺輝彦(専大) 2(19,19)0 佐藤大輔(早大)
橋本正浩 阿部友明
(渡辺・橋本組は初優勝)

女子団体

青山学院大 4-1 中京大

◇女子シングルス

準決勝

李宏宇(北海道栄養短大) 3(7,9,17)0 下長智子(青学大)
岡本香奈(中大) 3(20,-17,19,15)1 富永克子(富士短大)
決勝
李宏宇(北海道栄養短大) 3(15,19,20)0 岡本香奈(中大)

決勝

(李は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝

下長智子(青学大) 2(17,19)0 内野文(専大)
室重明世 堀川真希子(専大)
金原淳子(日体大) 2(13,11)0 土川麻子(大正大)
和山由香 堀越芳江

決勝

下長智子(青学大) 2(19,13)0 金原淳子(日体大)
室重明世 和山由香
(下長・室重組は初優勝、下長は2年ぶり2回目の優勝)

第55回全日本学生選手権大会(駒沢屋内球技場) …全日史上初、男女とも外国人留学生選手がシングルスで優勝。男子単・楊は輝く3連覇。男子複・渋谷・松下(浩)組も2連覇達成。

◇東西優勝校対抗戦

男子団体

専修大 4-0 福岡大
(専修大は4年ぶり8回目の優勝)

◇男子シングルス

準々決勝

楊玉華(東北福祉大) 3(18,13,7)0 木原温(専大)
松下浩二(明大) 3(-18,16,14,18)1 佐藤進(専大)
岩崎清信(専大) 3(-12,-15,14,16,15)2 伊藤誠(早大)
渋谷浩(明大) 3(16,14,24)0 田原直昌(専大)

準決勝

楊玉華(東北福祉大) 3(-16,4,17,-20,13)2 松下浩二(明大)
岩崎清信(専大) 3(19,15,-14,16)1 渋谷浩(明大)

決勝

楊玉華(東北福祉大) 3(17,15,13)0 岩崎清信(専大)

(楊は3年連続3回目の優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

渋谷浩(明大) 2(12,19)0 田中秀人(近大)
松下雄二(明大) 2(12,19)0 若山雄二(近大)
戸田冬樹(大正大) 2(13,14)0 川波豊(明大)
小泉純彦(大正大) 2(13,14)0 松下雄二(明大)

決勝

渋谷浩(明大) 2(18,-15,14)1 戸田冬樹(大正大)
松下雄二 小泉純彦

(渋谷・松下(浩)組は2年連続2回目の優勝)

女子団体

青山学院大 4-0 天理大
(青山学院大は5年連続5回目の優勝)

◇女子シングルス

準々決勝

李宏宇(北海道栄養短大) 3(13,10,16)0 下長智子(青学大)
今井美香(日体大) 3(-17,13,14,18)1 山下富美代(中京大)
朴貞美(東筑紫短大) 3(16,16,-14,12)1 原田千香子(大正大)
村松由希子(専大) 3(19,14,17)0 堀川真希子(専大)

準決勝

李宏宇(北海道栄養短大) 3(13,15,19)0 今井美香(日体大)
朴貞美(東筑紫短大) 3(14,15,17)0 村松由希子(専大)

決勝

李宏宇(北海道栄養短大) 3(12,9,18)0 朴貞美(東筑紫短大)

(李は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝

堀川真希子(専大) 2(10,14)0 小野ひとみ(専大)
内野文(専大) 2(10,14)0 村松由希子(専大)
嶋野理恵(中大) 2(19,-8,17)1 下長智子(青学大)
高尾和子(中大) 2(19,-8,17)1 室重明世

決勝

堀川真希子(専大) 2(17,17)0 嶋野理恵(中大)
内野文(専大) 2(17,17)0 高尾和子(中大)

(堀川・内野組は初優勝)



インカレ優勝の専修大・男子

インカレ優勝の青山学院大・女子



対チェコスロバキア友好試合



関東学生女子単決勝は青学大の同士討ち。下長智子(向こう側)が遠藤光恵を下し、2冠王



東日本学生選手権大会ポスター



全日学、学生役員